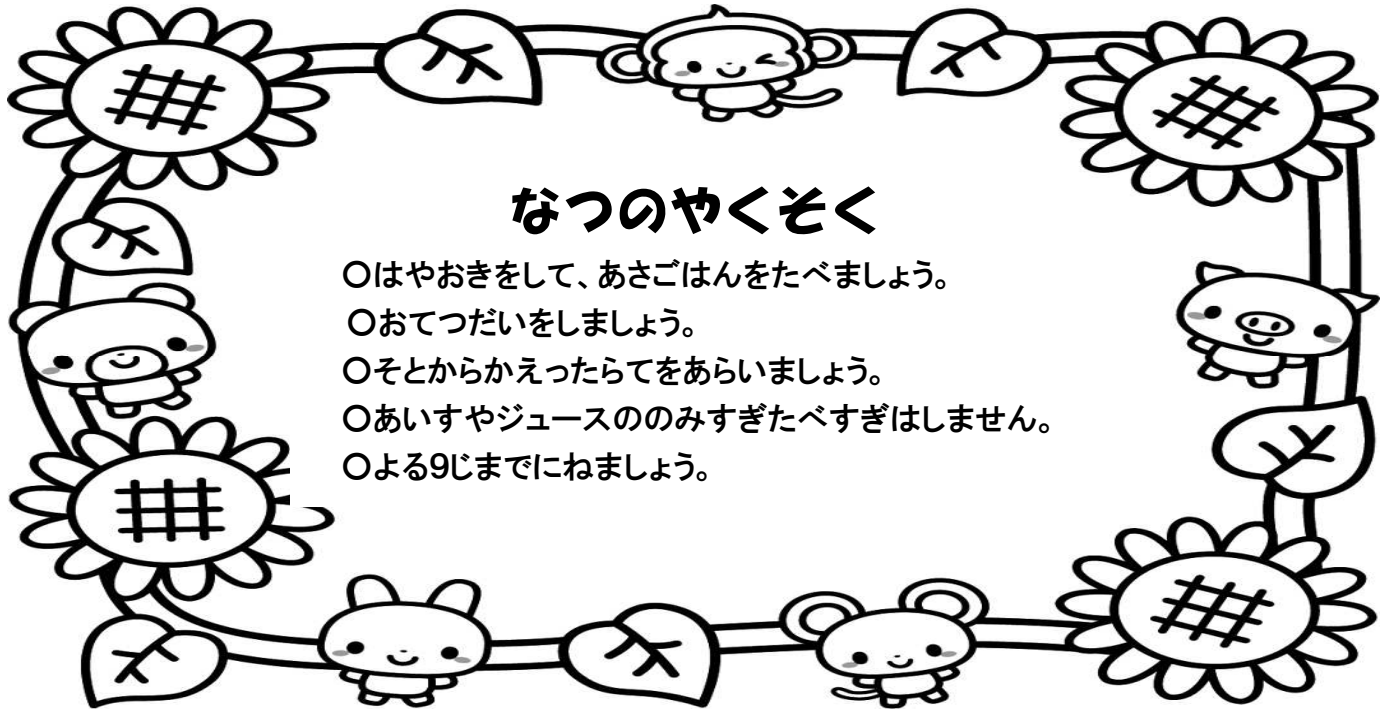


夏の生活

御前崎市立池新田幼稚園 令和5年7月20日

海に山にお出かけと楽しい夏ですが、油断は禁物！！事故や病気をせず、夏を楽しむために次の事に気をつけましょう。子どもたちの約束です。子どもが約束を守るためにはもちろんお家の人の声かけが必要です。

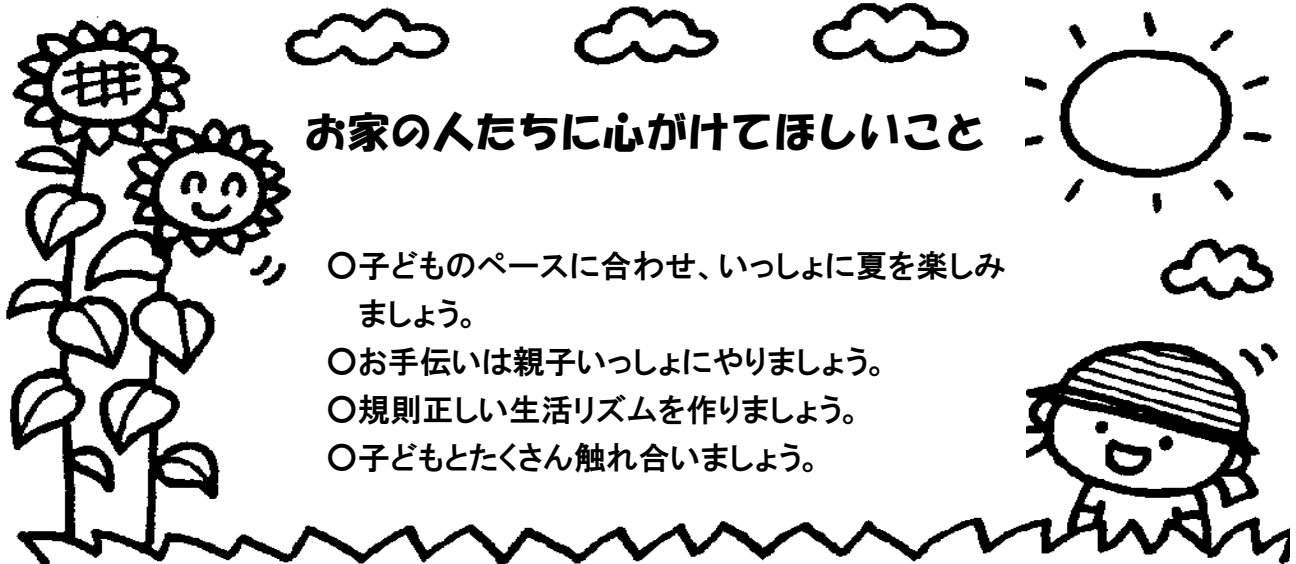


なつのやくそく

- はやおきをして、あさごはんをたべましょう。
- おてつだいをしましょう。
- そとからかえったらてをあらいましょう。
- あいすやジュースののみすぎたべすぎはしません。
- よる9じまでにねましょう。

夏の自然と遊ぼう！ 親子でたっぷりふれあいましょう！

夏休みは親子のふれあいをたっぷり楽しみましょう。自分でやる子になるためには、心が嬉しさで満たされることが大切です。「いっしょに」がポイントです。



お家の人たちに心がけてほしいこと

- 子どものペースに合わせ、いっしょに夏を楽しみましょう。
- お手伝いは親子いっしょにやりましょう。
- 規則正しい生活リズムを作りましょう。
- 子どもとたくさん触れ合いましょう。

夏休みだからできる体験を。

夏本番。海や山にプールに、夏休みだからこそできる体験は子どもたちをたくましく成長させてくれることでしょう。「是非とも泳げるように」「山歩きをさせよう」などと大人の要望を押し付けるのではなく、子どもたちのペースや興味に合わせ、親子いっしょに夏ならではの体験を楽しみたいですね。一緒にお風呂に入る、食事を作る、散歩する、絵本を見る、一緒に遊ぶ 等 日常を少しゆっくり一緒に楽しみたいですね。

また、公共施設でのマナーを育てる機会でもあります。子どもにとって退屈してしまったら、大声を出したり走り回りたくなることがあります。そんな時、知らん顔の親はいませんか？ 退屈ないように絵本やおもちゃを持っていく。おしゃべりやクイズで気晴らしをする。等大人もそれなりの努力をしましょう。4歳くらいまでは大変ですが、年長児にもなれば話せばわかるようになります。もうひとふんばり！ 大声で騒ぐ子どもを大声で叱って更に大泣きさせるのは最悪のパターンです。叱るだけではマナーは育ちません。

テレビ・ゲームを消して夏休み。

朝起きると同時にテレビをつけて食事中もつけっぱなし。ゲーム、パソコンもつけっぱなし。音のない生活は不安だと思っている人はいませんか？ 3歳になれば、「アニメを1つ見たら終わりだよ。」といった約束は守ることができます。この習慣がつくまでは、親もいっしょに見て時間になったら「消そうね」と言って消すまで確かめ「さあお風呂に入ろう」と次の行動を示してあげることが大切です。また、だらだら見せないためには一日のリズムが規則的でなければなりません。夏休みの生活の乱れを取り戻すことは大変です。ゲーム、テレビに子育てはできません。

夏休みには お手伝い

子どもにできるお手伝いはできるだけ親子いっしょにやりましょう。洗濯物をたたむなどは3歳からできるお手伝いです。この場合、たたみながら、「これはお父さんのシャツ、大きいね。」「これはケンちゃんのシャツ・・・」等できるだけ親子で会話することがポイントです。たたみながら、物の大・小・数など、自然に覚えることができるからです。また、裏返しになっている靴下をひっくり返したりハンカチをたたむなどのしぐさは、手先を器用にするだけでなく脳の発達をも促すのです。こどものお手伝いは大人には面倒なことです。できるだけ小さいうちから身につけさせたいものです。夏休みはお手伝いのできる子を育てる丁度いい時です。また、お手伝いのあとには必ず「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えてください。人に喜ばれる体験は意欲につながります。

夏休みのお手伝い、是非やってみてください。